

プラチナ四半期レポート

2024年第3四半期

2024年11月26日

はじめに

今回の『プラチナ四半期レポート』の内容は、2024年第3四半期の需給のレビュー、2024年全体の最新予測、さらに初めてとなる2025年の展望についてとなる。プラチナ投資家に役立つ情報、注目すべきトレンドとそれに対するWPICの見解、我々のプロダクトパートナー各社の最新情報も取り上げた。本稿7ページからのデータおよび分析はメタルズフォーカスが WPIC のために独自に作成したものである。

プラチナ市場は2025年も3年連続の供給不足になる予測。2024年の不足は 21.2トン、2025年はそれが少し減って 16.8トン になるだろう。多種多様な分野にわたる幅広いプラチナの旺盛な需要が供給の不足を生んでいる背景だ。2025年は、自動車、宝飾品、投資のプラチナ需要が2024年よりも増える見込みで、特に自動車のプラチナ需要は8年ぶりに高い水準になり、来年は周期的に減少の年にあたる工業需要の低迷を補うことができるだろう。南アフリカの鉱山会社が半加工在庫を放出したため2024年のプラチナ供給予測を上方修正したが、2025年はリサイクル供給が伸びて鉱山生産の減少を補うことができるだろう。

2024年の供給不足は 21.2トンに減少、年間需要予測の 9% 相当

- 2024年のプラチナの供給不足は、前回の『プラチナ四半期レポート』発表以降の供給の増加と需要の減少を反映して、10.8トン少ない 21.2トンに変更された。
- 2024年のプラチナの総供給は、南アフリカで半加工在庫が精錬加工され、ロシアでのメンテナンス作業が予定より早く終わったために両国の精錬プラチナ生産が予想を上回り、前回の予測から 5.6トン増えて、前年比で 2% 増、226.1トンの予測。
- 2024年のプラチナの総需要は 247.3トンの予測だが、取引所在庫が減少 (-2.6トン) し、自動車のドライブトレインの電動化ではなくむしろ自動車生産台数の予測が下方修正されたことによる自動車需要の減少 (-2.0トン) で、前回の需要予測から 5.2トン減る。

2025年も再び供給不足

- 2025年のプラチナ市場は 16.8トンの供給不足となる見通しで、これは2025年の需要予測の 7% 相当。供給は前年比+1%、需要は -1% の予測。
- 2025年の供給は、自動車触媒のリサイクルが前年比で 14% (5.3トン) 増えて 41.9トンになり、全体で 1.7トン 増えて 227.8トンになるだろう。鉱山供給は、2024年に始まった南アフリカと北米の鉱山会社の再編の影響が生産に始まる、前年比で 2% (4.1トン) 減る予測。
- 2025年の需要は 2.7トン 減って 244.5トンになる見通し。自動車、宝飾品、投資で需要が増えるが、工業需要はガラス産業の生産能力の拡大が行われず、前年比で 9% 減るだろう。

プラチナの供給と需要 – 第3四半期の結果と2024年全体のまとめ、2025年の展望

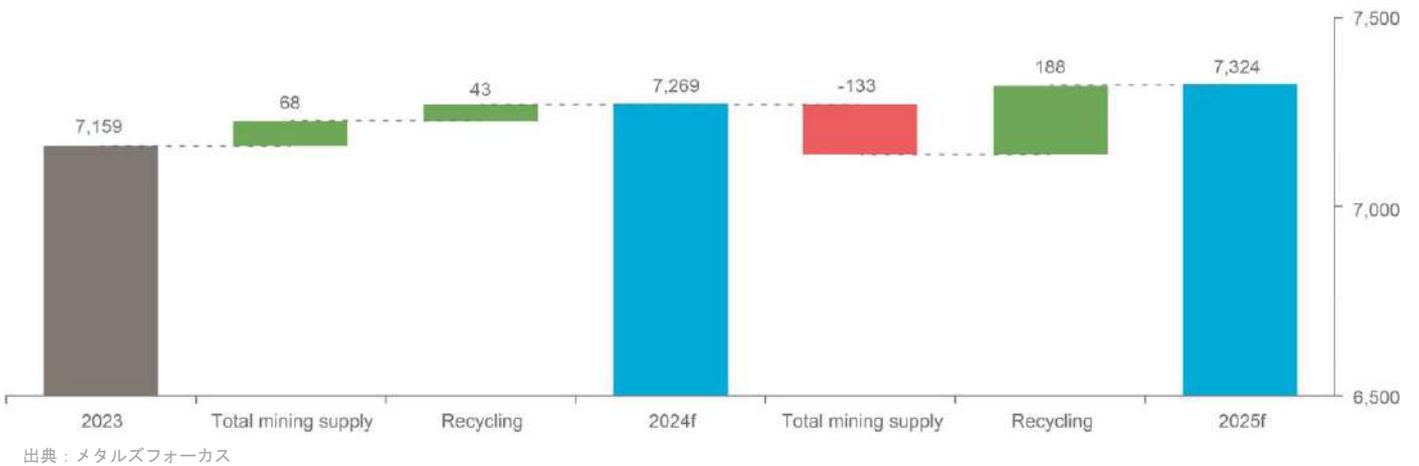
2024年第3四半期は、ETF資金の流出で 8.1 トンの供給過剰

第3四半期は、ETFが 9.3トンも売却されて2年ぶりに低い 48.7トンの需要となった。プラチナ価格が第2四半期に比べて上昇した時点で利益確定のため売却した投資家が多かったようだ。自動車需要は前年同期比で 3% 減ったが、これはドライブトレインの変化が原因ではない。バッテリー電気自動車(BEV) の伸びは依然として鈍化、ハイブリッド車の伸びは堅調、エンジン車の需要は緩いペースの減少という傾向が変わっているわけではないからだ。この自動車需要の減少はむしろ、コストの上昇で新車が売れなかった欧州の自動車市場の大きな不調が他の地域の需要増を打ち消してしまったのが原因と考えられる。その他、宝飾品と工業分野のプラチナ需要は前年同期比で増加があった。

第3四半期のプラチナの供給は前年同期比で 5% の増加となった。鉱山供給は、主に南アフリカの増産のおかげで前年同期比 7% 増、46.0トンだった。南アフリカでは電力不足による操業停止期間が減って溶鉱炉の稼働率が上がり、半加工在庫の放出と合わせて、加工過程で問題が生じたジンバブエの減産を補うことができた。ロシアでは計画されていた溶鉱炉の再構築が予定よりも早く終わった。北米の溶鉱炉の再構築は第3四半期の生産にそれほど影響を与えなかった。第3四半期のリサイクル供給は前年同期比でそれほど変わらず。自動車触媒のリサイクルは前年同期比で 2% 増えてはいるが、メタル価格が上がるまで処理せず多くのスクラップヤードが資材を貯めているとする報告と、新車が売れないために廃車自体が少ないとする報告と色々入り混じっている。

供給不足の四半期が2期続いた後の第3四半期のマーケットは、8.1トンの供給過剰となった。

2023年から2025年(予測)の年間供給の変化 (koz)



2024年の見通し - プラチナ市場の供給不足は 21.2トン、年間需要の 9%

2024年全体の供給不足は 21.2トンとなる見通しで、23.6トン 不足した2023年よりも供給が需要を上回ったため (前年比で供給の伸びは+1.5%、需要の伸びは +0.4%)、不足幅は縮小するだろう。

2024年全体の鉱山供給は前年比で 1% 増えてで 176.7トンになる見込み。前回の『プラチナ四半期レポート』から 5.4トン増えたのは、南アフリカで半加工在庫の精錬が進み、ロシアの溶鉱炉メンテナンスの影響がほとんどなかったため。計画停電が絶え間なく起こった2022年と2023年の南アフリカでは、溶鉱炉の稼働率を調整しながら生産が行われていたが、電力供給が安定した今は溶鉱炉の稼働率が大きく上がり、溜まっていた在庫の処理が可能になった。リサイクル供給の予測はほとんど変わらず、前年比で 3% 増える見込みで、全体の供給は前年比で 2% 増えて 226.1トンになるだろう。

2024年の総需要は前回の『プラチナ四半期レポート』から 5.2トン減って 247.3トンとなる予測だが、前年比では 1.02トンの増加となる。自動車需要は前年比で 2% 減って 98.7トンになる見込み。前回の予測から減ったのは、コスト高による自動車販売の低迷と、欧州の自動車生産が特に打撃を受け自動車生産予測が下方修正されたため。しかし、BEV の需要の伸び率鈍化、エンジン車の需要は予測よりも長く続くという大きな流れには変わらない。今年初めの予測では、BEV のマーケットシェアは 15% と予測されていたが、現在の予測は 13% にとどまる (2023年のシェアは Global Data によると 12%)。

2024年の投資需要は 12.2トンの予測。前回の予測から 3.9トン 減るのは取引所在庫の流出が原因。その他、インゴットとコインの需要は伸びないが、ETF へ資金が流入して補うことができるだろう。

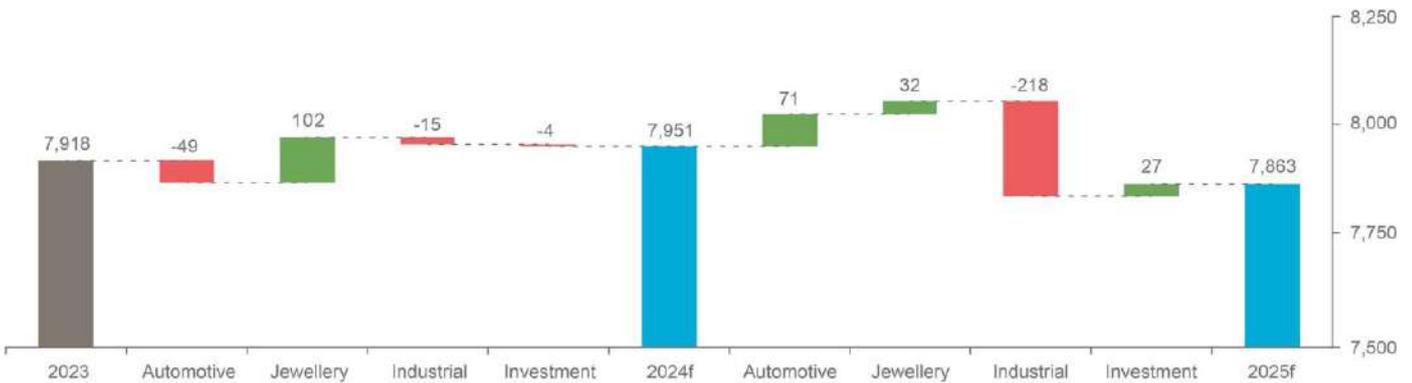
2024年の工業のプラチナ需要は、中国で化学工場の新設が減ったことが大きく、前年比 1% 減る予測だが、ガラスの生産能力拡大で一部は補われるだろう。宝飾品需要は、国内経済の低迷で消費支出が伸びない中国を除くすべての地域で広く需要が伸びて前年比で 5% 増える見込み。

供給は増えるが需要は低迷するため、2024年の供給不足は前回の『プラチナ四半期レポート』で予測した 32.0トン から、 21.2 トンに減るだろう。

2025年の展望 – 3年連続で市場は供給不足、地上在庫はさらに減少

ここ2年間見られたトレンドは2025年も続く。供給ではリサイクル供給が増えても鉱山生産が伸びず全体の増加を相殺してしまうが、需要はプラチナのエンドユーザーが多様な分野にまたがるおかげで安定しているだろう。自動車、宝飾品、投資のプラチナ需要の伸びは一桁台だが、来年はガラス産業の生産能力増強がない年であるために伸びが期待できない工業需要の低迷を補うだろう。したがって弱い供給と、伸びは鈍化するが堅調な需要を背景に市場の供給不足は続き、需要の 7% に当たる 16.8トンが不足する見通しだ。

2023年から2025年(予測)の年間需要の変化 (koz)



出典：メタルズフォーカス

2025年の鉱山のプラチナ生産は、南アフリカと北米の生産が伸びず前年比で 2% 減って 172.6トンになるだろう。南アフリカの生産は、業界再編で収益の低い生産がカットされ、前年よりも 2% (2.2トン) 少なくなるだろう。また2024年は半加工在庫が精錬されたことで生産が嵩上げされるが、2025年にはそのようなことはないと思われる。北米の Stillwater West 鉱山が一時停止されたことも、生産が減る背景だ。2025年のリサイクルは廃車体スクラップの増加で前年比 12% 増える予測だが、それでも自動車触媒のリサイクルは2019年~2021年の平均よりも 14% 少ないだろう (2021年は過去最高)。2025年の鉱山とリサイクルを合わせたプラチナの総供給は 227.8トンとなり、過去10年間の平均である 240.0トンを 5% 下回る見通し。

2025年のプラチナの需要は前年比で 1% (2.7トン) 増える予測。ガラス産業で新規の工場建設がないだけで昨年よりも 12.0トン需要が減るが、プラチナエンドユーザーは多くの分野にわたるおかげでその影響は多少和らげられるだろう。自動車需要は前年比で 2% 増える予測で、これはハイブリッド車の増加、パラジウムの代替としての需要、商用車の増加などがエンジン車の減少による需要減を補うことができるからだ。2025年のエンジン車とハイブリッド車を合わせた自動車生産は、BEV のマーケットシェア拡大に押されて当初の予測の 7900万台から 7800万台に減る見込み。宝飾品では、ゴールド価格の高騰で消費者がプラチナ商品に流れ、米国とインドで需要が伸び、中国市場も回復するだろう。2025年の投資需要はインゴットとコイン、ETF の需要も減って 13.1 トンになる予測。

世界のプラチナ市場は3年連続で供給不足(16.8トン)になる予測で、過去3年間で地上在庫 61.6トンが引き出されることになり、タイトなファンダメンタルズとなるだろう。

年間のプラチナ需給バランス(koz)



出典：2014年から2018年はSFA（オックスフォード）、2019年から2025年予測はメタルズフォーカス

プラチナ投資 – 減少する供給と堅調な需要で供給不足リスク高まる

3年連続の供給不足となるプラチナ市場を変えるような要因は今のところ見当たらない。世界経済の先行き不透明感が消えない中でもプラチナ需要は堅調だが、PGM バasket価格が成長に必要な新たな投資を呼び込むレベルにまで上がらないため、供給がコロナ禍以前の水準に回復する見込みはない。供給不足で地上在庫が急速に減っており、2025年までの3年間で 40% 以上減る事になる。

プラチナ需要の観点からみた世界経済は、前回の『プラチナ四半期レポート』を発表した時点からは回復しているが、まだ不安定な要素も多々ある。まず、インフレ率が目標に近づきつつあるのを受けて各国の中央銀行が金利を下げ始めたが、金融緩和で新車の購入やビジネスの大規模な投資がしやすい環境になるかどうかということ。次に、単一国としては世界最大のプラチナ消費国である中国では、経済刺激策を通じて経済の回復に力を注ぐとみられるが、プラチナ需要もその恩恵を受けるかどうかということなどだ。

最後に米国の大統領選挙は共和党の勝利に終わったが、インフレ抑制法(IRA)に対して批判的な新政権はまだ発展途上にある水素経済産業にとっては障害となるだろう。同法の恩恵を受けているのは共和党支持の州が多いことから、水素産業に対する優遇策が取り上げられるかどうかは不明だが、我々は水素需要に関しては中国と欧州の方が米国よりも大きくなると考えている。また、米国で環境政策が大きく変更された場合の自動車産業への影響としては、BEV の普及率の伸びが鈍化していることと排ガス規制の緩和や実施の遅れていることを考えると、短期中期的には PGM 需要はむしろ恩恵を受ける側になるのではないだろうか。

自動車産業のプラチナ需要は、2024年は前年比で 2% 減り、2025年は前年比 2% 増える予測だ。BEV の需要の伸び鈍化は続き、消費者は電動化への中間ステップとしてハイブリッド車を選択する傾向が続くだろう。世界の普通乗用車市場の BEV のシェアは、2023年は 12%、2024年は僅か 1% 増えるだけの 13% にとどまる見通しだが、2025年は、再びBEV が伸びるという見方もある。安価なモデルが登場し、生産する全車を対象とした排ガス規制でエンジン車が規制されるため、BEV 生産は前年比で 31% も増える予測だ。昨今の動きを考えると BEV の増加ペースはまだ鈍化するリスクもあるが、BEV が増加してもハイブリッド車も含むエンジン車に与える打撃はそれほど大きくはない。2025年までの2年間のエンジン車生産予測は 8000万台から 7800万台に減っているが、200万台減産の分は、PGM をより多く使うハイブリッド車の増産とパラジウムの代替として使われるプラチナの需要で補えるだろう。一方で金利が下がれば、大型輸送車の需要が増えてプラチナの需要に貢献するだろう。

工業のプラチナ需要は、金利が高いままであったり経済の先行きが不透明であったりする中で堅調さを維持できていると言える。2025年は工業需要が前年比で 9% 減る予測だが、これはガラス産業で2025年になるとされていた生産能力の拡張が、2024年第4四半期になるというタイミングによる。ガラス産業の2024年はプラチナ需要が過去2番目に多い年だが、2025年は2019年来最も少ない年となる。ガラスを除いた工業分野のプラチナ需要は、化学、石油、水素関連の分野で増えて前年比 9% 増加となる予測。

プラチナ宝飾品の需要は底を売った2023年を経て、2025年は2年連続で需要が伸びる見込みだ。高値のゴールドと比べたプラチナの割安感に惹かれる消費者が増え、中国、インドともに需要が回復するだろう。投資需要はセンチメントが好転すれば予想以上に伸びる可能性がある。金利を生まない資産であるプラチナは金利が下がれば投資先としての魅力が増し、特に米国のコストコがプラチナインゴットの販売を始め、中国の China Gold Coin Group (CGCG) が新しいプラチナ商品を市場に出すなど、プラチナインゴットやコインが手に入りやすい環境になっている。

プラチナ投資にとってもう一つ重要なのは、供給の展望がよくないことだ。過去12ヶ月間で、プラチナ鉱山会社は人員整理、収益の低い生産拠点の停止、増産プロジェクトや旧鉱山から新鉱山への移行プロジェクトの延期を含む再編を発表した。2025年の供給予測 172.6トン は、2015年から2019年の年間平均よりも約 17.9トン も少ない。今回の業界再編成は2024年内に終わるとされているが、再編を余儀なくされた根本的な背景に変わりはない。ランド建の PGM バスケット価格はここ 1年ほど変動していないとはいえ、新たな投資を呼び込むには低すぎる水準だ。インフレで生産コストの上昇は避けられず、鉱山業界の財務状況改善のためには何らかの抜本的な対策が必要なのは明らかで、プラチナの供給リスクはまだ高いままというのが我々の見解だ。

プラチナのファンダメンタルズが強まっていることで全般的にはセンチメントは回復しているようだ。価格はまだそれに強く反応していないが、供給リスクとともに、懸念されていたような自動車需要の縮小は当面起きないことを受けた供給不足で、地上在庫が供給の最後の砦とみなされている。地上在庫が 2022年から2025年の間に 40% も減れば、現物市場はタイトになりプラチナ価格を底上げする力となるはずだ。

WPIC 活動のハイライト

我々のプロダクトパートナーはその数が増えているだけでなく地理的にも世界各国に広がっている。投資家の選択肢が増えるだけでなく、我々はより多くの地域でプラチナ投資を増やすための適切な市場知識と戦略を幅広く提供できるようになった。足元の貴金属需要は、非常に高かった過去3年間の水準を下回っているが、世界的な不安の高まりと利下げサイクルの始まりで、決して弱くなっているわけではない。

欧州と北米では、高騰しているゴールドと比べた割安感のおかげでプラチナへの関心が高まっている。プラチナ価格がファンダメンタルズを正確に反映したものになるのは時間の問題だと見る投資家は少なくない。コストコがプラチナインゴットとコインの販売を始めたというニュースを始め、プラチナ投資に関する報道も日まじりに増えている。この流れは我々のプロダクトパートナーのプラチナ商品の販売促進にとっては追い風になり、個人の退職金口座に現物プラチナ投資が認められる可能性も大いに高まっている。プロダクトパートナー各社では販売員のトレーニングを強化し、プラチナ投資商品に対する知識を高めて販売促進に繋いでいる。

我々のサポートを受ける中国のプロダクトパートナー各社では、幅広い消費者層にアピールするギフトやコレクションを含む新しいデザインのプラチナ商品の種類を増やした結果、プラチナ投資商品の売り上げが第3四半期終わりまでに前年比で 38% 伸びた。China Gold Coin Group (CGCG) は2025年には已年にちなんだプラチナインゴットやコインとともに、プラチナパンダの30グラムコインの製造を倍増することを発表している。同社はまた、10月に Beijing National Coin Exposition にて、中国の伝統的なデザインを施した初の 1 キログラムのプラチナインゴットを披露した。また、深圳のメーカー Yue Heng によると、ゴールド価格が高すぎるため消費者が買いやすいプラチナ商品を店頭に並べるため、ゴールド商品専門店からプラチナ商品の注文が大幅に増えているとしている。

日本では楽天証券とともに7月から9月にかけてキャンペーンを行い、販売と投資家の獲得に貢献した。

年末が近づくとつれ世界の主要市場で2025年に発売予定の投資用コインにゴールドやシルバーだけでなく、プラチナも含むというニュースが増えていることは我々にとって大きな朗報だ。

CEO、トレバー・レイモンド

目次

はじめに	1	2025年の展望	19
要約データ表	7	詳細データ表	22
2024年第3四半期レビュー	8	著作権と免責条項	27
2024年の展望	13		

PLATINUM QUARTERLY Q3 2024

表 1 : 供給、需要、地上在庫のまとめ

	2021	2022	2023	2024f	2025f	2024f/2023 Growth %	2025f/2024f Growth %	Q2 2024	Q3 2024
Platinum Supply-demand Balance (koz)									
SUPPLY									
Refined Production	6,295	5,520	5,604	5,626	5,550	0%	-1%	1,541	1,479
South Africa	4,678	3,915	3,957	4,000	3,929	1%	-2%	1,128	1,073
Zimbabwe	485	480	507	504	522	-1%	3%	126	126
North America	273	263	275	252	232	-8%	-8%	59	60
Russia	652	663	674	678	676	1%	0%	181	172
Other	206	200	190	191	191	0%	0%	48	48
Increase (-)/Decrease (+) in Producer Inventory	-93	+43	+11	+57	+0	>±300%	-100%	+35	+0
Total Mining Supply	6,202	5,563	5,615	5,683	5,550	1%	-2%	1,576	1,479
Recycling	2,106	1,762	1,544	1,587	1,774	3%	12%	388	348
Autocatalyst	1,618	1,322	1,143	1,176	1,346	3%	14%	297	260
Jewellery	422	372	331	335	347	1%	4%	72	68
Industrial	67	69	71	76	81	8%	6%	19	20
Total Supply	8,308	7,326	7,159	7,269	7,324	2%	1%	1,964	1,827
DEMAND									
Automotive	2,441	2,751	3,223	3,173	3,245	-2%	2%	805	750
Autocatalyst	2,441	2,751	3,223	3,173	3,245	-2%	2%	805	750
Non-road	†	†	†	†	†	N/A	N/A	†	†
Jewellery	1,953	1,880	1,849	1,951	1,983	5%	2%	497	478
Industrial	2,526	2,336	2,449	2,434	2,216	-1%	-9%	667	565
Chemical	658	694	786	563	656	-28%	17%	140	137
Petroleum	169	193	161	161	211	0%	31%	40	40
Electrical	135	106	89	90	92	1%	2%	23	24
Glass	753	505	521	671	286	29%	-57%	225	125
Medical	267	278	292	303	314	4%	4%	77	78
Hydrogen Stationary and Other	17	12	29	64	84	123%	32%	14	17
Other	528	548	571	582	574	2%	-1%	148	144
Investment	-3	-516	397	393	420	-1%	7%	462	-226
Change in Bars, Coins	349	259	322	171	151	-47%	-12%	17	69
China Bars ≥ 500g	27	90	134	157	170	17%	8%	41	30
Change in ETF Holdings	-241	-558	-74	150	50	N/A	-67%	444	-300
Change in Stocks Held by Exchanges	-139	-307	14	-85	50	N/A	N/A	-40	-25
Total Demand	6,917	6,451	7,918	7,951	7,863	0%	-1%	2,431	1,567
Balance	1,392	874	-759	-682	-539	N/A	N/A	-467	260
Above Ground Stocks	4,119**	4,993	4,235	3,553	3,014	-16%	-15%		

出典: メタルズフォーカス (2020年から2025年予測)

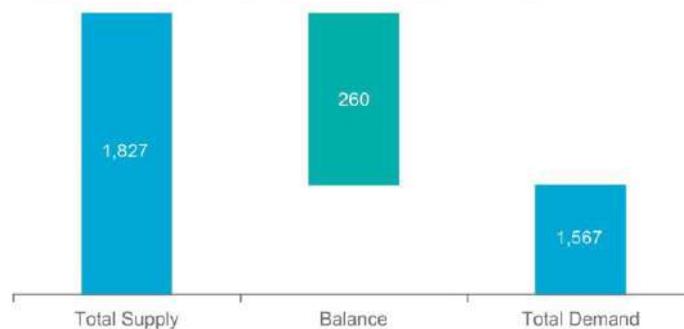
注:

1. 地上在庫: ***113.5トン 2018年12月31日時点 (メタルズフォーカス)
2. †道路を通行する車両以外の自動車需要は自動車触媒需要に含まれる。
3. 予測は全て最新データに基づくが、新たな四半期レポートのデータに応じて修正されることがある。
4. WPICは2013年、および2014年第1四半期および同年第2四半期の予測は発表していない。しかし2014年第3四半期から2022年第2四半期のデータは過去のプラチナ四半期レポートに掲載されており、それらについてはWPICウェブサイトを参照 (無料)。
5. 2022年第3四半期以降の四半期予測と2022年上半年以降の6ヶ月予測は、19ページの表3と20ページの表4にそれぞれ含まれている (供給、需要、地上在庫)。22ページの表6の地域毎のリサイクル供給の詳細データは2019年からのものによる。

2024年第3四半期のマーケットレビュー

2024年第3四半期のプラチナ市場は、供給、特に精錬プラチナの鉱山生産が回復し、需要が下がったため、今年初めて 8.1 トンの供給過剰になった。南アフリカの鉱山生産会社が半加工在庫の処理を進め、世界の鉱山供給は前年同期比で 7% (+2.9トン) 増えて 46.0トンになった。リサイクル供給には変化がなかった。需要では、低迷した自動車需要をその他の分野が補ったが、ETF の売却と取引所在庫の動きで投資需要がネガティブになったため、世界のプラチナ需要は 11% (5.9トン) 減って 48.7トンだった。

チャート 1 : 2024年第3四半期の需要供給バランス (koz)



出典：メタルズフォーカス

供給

世界の精錬プラチナ生産は、主に南アフリカが生産が増えて前年同期比で 7% 増えて 46.0トンになった。

2期連続で アングロ・アメリカン・プラチナム (アムプラッツ) が半加工在庫の処理を行い、供給を嵩上げた。エスコムによる計画停電が終わって加工作業を中断することがなくなり、鉱山の採掘よりも精錬加工量の方が多くなった。半加工在庫の処理は予想されていたよりも早いスピードで進み、アムプラッツは通年の生産目標を上方修正した。

インパラ・プラチナム (イムプラッツ) の精錬プラチナ生産はメンテナンス作業と断水のため減産、シバニエ・スティルウォーターの Marikana 鉱山の操業は安定していた。コスト削減のために Rowland シャフトがダウンサイジングされ、4B シャフトも閉鎖されたことによる減産は、K4 シャフトの増産で補われた。

南アフリカが生産は前年同期比で 9% 増えて 33.4トンとなり、2021年以降で初めて2期連続 31.1 トンを超えた。

ジンバブエの生産は前年同期比で 5% 減って 3.9トンとなった。ジムプラッツで溶鉱炉の拡張作業が行われたため、採掘量は変わらなかったが半加工在庫が積み上がって精錬生産高に影響した。

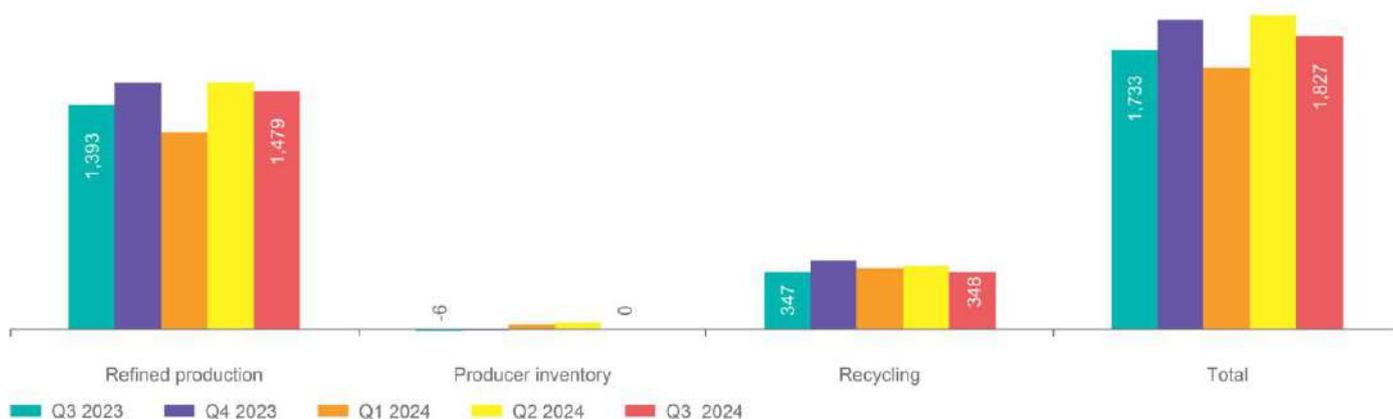
ロシアの生産は、Nadezhda Metallurgical 工場の第2溶鉱炉の再構築で多少影響があったにもかかわらず、鉱石の PGM 比率が低かった前年同期比では 2% 増え 5.3トンだった。

北米の生産は、米国でのシバニエ・スティルウォーターの鉱山、カナダではニッケルの副産物としてのプラチナ生産、そしてインパラ・カナダと生産会社の顔ぶれに変化はなく、生産高も前年同期比で変わらず 1.9トンだった。シバニエ・スティルウォーターの鉱山では鉱石の PGM グレードが上がったにもかかわらず、7月に起こったサイバー攻撃が Columbus の精錬施設に打撃を与え、半加工在庫が積み上がった。

リサイクル

2024年第3四半期のリサイクルは前年同期比では変化なく 10.8トンだった。廃触媒のリサイクルは供給が安定して 2% (0.187トン) 増えた。しかし、新車価格が高いまま下がらず、消費者は代わりに中古車を購入するなどしたため、スクラップヤードが資材を溜め込み、廃車体の在庫も少なくなってリサイクル供給の伸びは鈍化している。宝飾品のリサイクルは、プラチナ価格が低いのと、中国でゴールド商品にシフトした小売がプラチナ商品の在庫処理を行う前年同期に見られた動きが今年はなかったために、前年同期比で 10% 減った。電子材のリサイクルは、データセンターが処理スピードを高めるために設備のアップグレードを行い 14% (0.062トン) 増えた。

チャート 2 : プラチナ供給 (koz)

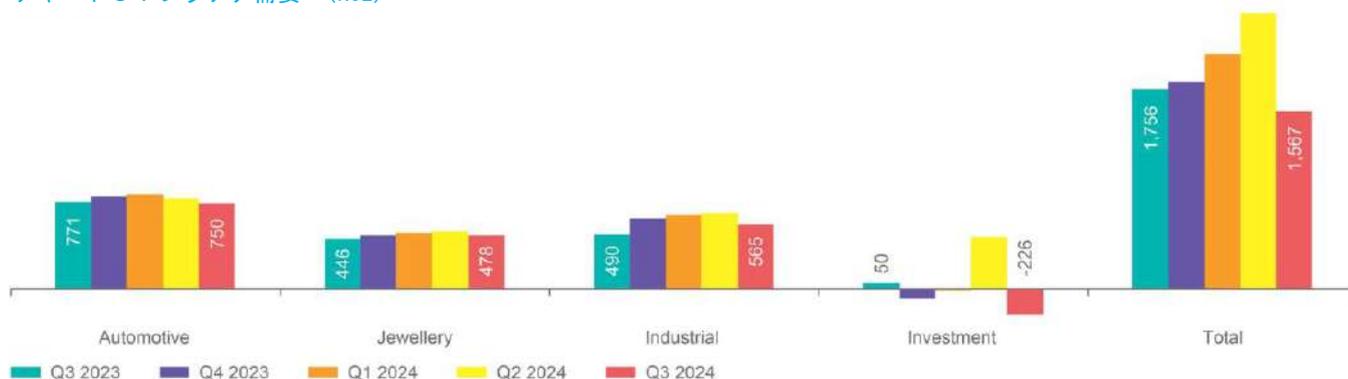


出典：メタルズフォーカス

需要

世界のプラチナ需要は、投資需要がネガティブになったのと、自動車販売が弱く前年同期比で 11% 減ったことで 48.7トン だった。工業のプラチナ需要は回復したが、これはあくまでも非常に低かった前年同期との比較の結果だ。

チャート 3 : プラチナ需要 (koz)



出典：メタルズフォーカス

自動車需要

2024年第3四半期の世界の自動車需要は、欧州の低迷を他の地域が補えなかったため前年同期比で 3% (0.653トン) 減った。世界の普通乗用車生産は マイナス 3%で、ハイブリッド車は 28% 増加したが、純粋なエンジン車の生産は 12% 減り、プラチナ需要には圧力がかかった。

世界の大型輸送車生産も 7% の減少。これは昨年、EU の車両安全規則及び製品安全規則が2024年6月から適用されるにあたってコスト増を懸念した業者が前倒で車両を多く注文した煽りだ。一方、一般道を走行しない車両の生産はセクターによってばらつきがあった。コロナ禍後の積極的な支援策で農業機械の生産や販売が増えていたが、コスト高や予想以下の収穫高に直面した農家は新たな農業機械の購入を控えているようだ。一方、建設機械は世界的な新築ブームに乗って 11%増えた。

欧州では、ディーゼル車の生産がマイナス 14%、ガソリン車の生産がマイナス 2%とそれぞれ減ったため、プラチナ需要は 14% (1.120トン) 減った。車両価格の高騰と経済の先行き不安が販売の低迷につながり、それを受けて生産規模も縮小された。

北米は、普通乗用車生産がマイナス 5%、大型輸送車生産がマイナス 11% だったにも関わらず、プラチナ需要は 1% (0.062トン) 増加した。ハイブリッド車の増加と車両に使われるプラチナ触媒の量が増えた結果だ。

日本のプラチナ需要は、型式指定を巡る不正などの問題で業界に混乱が起きたにも関わらず、4% (0.093トン) の増加となった。ここでもハイブリッド車と燃料電池自動車の生産増加と大型輸送車の増産が、エンジン車生産の減少を補った。

中国では、BEV 生産と並行して増えたハイブリッド車生産が支えとなり、プラチナ需要は 4% (0.156トン) 増えた。ハイブリッド車の生産は2022年第4四半期に 100万台を超えた後も安定している。政府が7月末に車の買い替えに対する補助金を倍増したこともパワートレインの種類に限らず需要を支えた。

そのほかの地域ではエンジン車生産は多少減った (-2%) が、ハイブリッド車の増加 (27%) に支えられたプラチナ需要には変化がなかった。

宝飾品需要

2024年第3四半期の世界のプラチナ宝飾品需要は前年同期比で 7% (0.995トン) 増えて 14.9トン だった。

欧州の需要は前年同期比で 3% 増加したが、セクターや国によって内容は大きく異なった。英国の品位証明刻印の受付量が 1% 減ったことからわかるように、生活費の上昇を受けて大衆向けとブライダルセクターの需要は予想を下回った。しかし、高級品セクターは非常に好調で、スイスのプラチナ品位証明刻印の受付量は 44% も増えた。

北米のプラチナ宝飾品製造は、ホワイトゴールドとの価格差の広がりやダイヤモンド価格の下落(宝石付の商品の全体の価格を下げる効果がある)のおかげで 3% 増えた。生活費の上昇による影響は、婚約商品を除いてはプラチナ商品の販売にはあまり関係がないようだ。

日本では、ゴールド価格の高騰で低迷したゴールド商品とは裏腹に、プラチナ宝飾品需要は割安感が大きなアピールとなって非常に好調で、10% 増えた。7月に円建てでゴールド価格が史上最高をつけたが、プラチナ価格は過去の平均よりもわずかに上がったのみで、2008年のピークよりは大幅に低いままだ。ブライダルセクターは依然弱い。

中国では第2四半期のプラチナ需要が好調だったため第3四半期に期待が高まったが、プラチナ宝飾品製造高は前年同期比でマイナス 8%、前期比ではマイナス 6% となった。消費者センチメントの弱さ、経済成長の鈍化、そして自由裁量品への出費に慎重な消費者動向などが大きな逆風となった。また、ゴールド価格の上昇を受けてゴールド商品をプラチナ商品に入れ替えるという第2四半期の需要を支えた小売店の動きが、第3四半期は弱まってしまった。大手小売店はゴールド宝飾品の需要低迷で打撃を受け販売網の見直しを初めており、それが終わらなければ商品の在庫構成の見直しに取り掛からないということだった。

インドのプラチナ宝飾品製造は前年同期比で 68% 増えて 2.1トンになり、2018年以降の四半期ベースとしては過去2番目に多い四半期となった。この好況の背景には感謝祭とクリスマス商戦に向けて米国と英国へ、そしてアラブ首長国連邦への輸出が前年同期比で7倍近くに増えたことがある。またゴールドとプラチナの価格差で欧米市場の需要はさらに高くなった。インド国内では結婚式と祝賀シーズンに向けて小売店が在庫を増やし、またチェーン店の拡大などで、プラチナ宝飾品の製造が増えた。

工業需要

2024年第3四半期の工業のプラチナ需要は、前年同期に少なかったガラス産業の需要が、比較上 15% (2.4トン) 増えた。

化学

2024年第3四半期の化学産業のプラチナ需要は前期比でマイナス 2%、前年同期比では マイナス 7% で 4.3トンとなり、2022年第3四半期以来最も少ない四半期となった。中国のパラキシレン (PX) メーカーの需要が減ったことが大きく響いた。2023年に生産能力を大規模に拡張した後、今年新設された工場は全くないのだ。脱水素プロパン施設 (PDH) の需要はそれほど悪くなく、2024年第3四半期は2ヶ所の新設があったが、PX 分野の需要減を補うには足りなかった。シリコン産業のプラチナ需要は、消費財の需要が建設セクターの低迷を補って安定していた。硝酸生産は前期に比べ安定していた。

石油

中東で緊張が高まっているにも関わらず、2024年第3四半期の世界の石油供給はあまり影響を受けなかった。プラチナ需要も前期比で安定して 1.244トンで、前年同期比では 3% の増加となった。前年同様、北米では月毎の石油生産が過去最高となり、プラチナ需要も増加した。反対に中国では国内の石油消費が減って石油化学生産能力の拡大ペースも鈍化したため、プラチナ需要は減少した。(新たに建設された石油化学施設の多くは原油の精製施設と統合されている。) 欧州の精錬生産は国際競争力が弱まり、経済の低迷もあって生産が減った。

医療

2024年第3四半期の医療分野のプラチナ需要は前年同期比で過去最高となる 10% (0.218トン) 増を記録し、2.4トンとなった。がん治療や医療機器の技術発展がプラチナ需要を支え、それに加えて先進国でも途上国でも人口の高齢化とヘルスケアへのアクセスの向上が進んだ。

ガラス

2024年第3四半期のガラス産業のプラチナ需要は前年同期比で 96% (1.9トン) 増えて3.9トンだった。前年同期は韓国の LCD 工場の閉鎖に伴ってプラチナの需要が少なかったため、比較上大きな増加となった。前期比での需要がマイナス 44% となったのは、2024年第1四半期から第2四半期に多く行われた中国の LCD 生産能力拡大がなかったため。

電子材

2024年第3四半期の電子材分野のプラチナ需要は前年同期比で 10% (0.062トン) 増えた。これを支えたのは人工知能 (AI) 関連のツールや利用のために必要なデータストレージ、データ分析、トレーニングモデルのためのインフラ設備のアップグレードだ。エッジコンピューティングやニアラインストレージの需要が大きく増えて大容量ディスクおよびハードディスクドライブの出荷増を支えた。また、高度な半導体製品 (10nm 以下) と半導体製造工場の拡張などが、プラチナ合金のスパッタリングターゲットの需要につながった。

定置型燃料電池とその他の水素関連

この分野のプラチナ需要はまだ多くなく、2024年第3四半期は 0.311 トンだった。2024年第3四半期はBMW、トヨタ自動車、ヒュンデが燃料電池自動車の新たな戦略を発表し、グリーン水素の需要増につながる燃料電池自動車が増えるなど水素バリューチェーン全体の活性化に期待が高まった。しかし投資資金が十分集まらず、水素生産と交通分野のプロジェクトが次の段階に進むための障害となっている。

その他

2024年第3四半期の工業のその他の分野のプラチナ需要は 3% (0.156トン) 増えて 4.5トンだった。自動車セクターでは EV 市場の成長鈍化が目立ったが、エンジン車とハイブリッド車の生産は好調で、スパークプラグやセンサーの需要を支えた。それに伴って自動車の所有率が上がってアフターマーケットセクターも好調だった。

投資需要

2024年第3四半期の世界の個人投資家需要は前年同期比でマイナス 20% (-0.529トン) で 2.1トンとなったが、前期比では 1.6トンの増加だった。前年同期比でマイナスとなったのは北米の需要低下がさらに進んだことによる。前期比で増えたのは日本の需要が大きく売越した前期からネットでポジティブに転じたからだ。

米国の個人投資家需要は特に弱く、3分の2以上需要が減って (-0.902トン)、数年来最も低い 0.435トンとなった。前回の『プラチナ四半期レポート』でメタルズフォーカスが強調したように、この傾向は貴金属投資全体に言えることで、多くの投資家が資産を売却しゴールドでもシルバーでも投資需要が減った。今年はプラチナイーグルコインの発売がなかったことも需要に大きく響いた。

欧州の個人投資家需要は前年同期比でマイナス 28%、前期比ではマイナス 35% で 0.156トンとなった。今年上半期同様にこれは、金利の高さとインフレ、そして様々な危機的状況に疲れた投資家が現物の貴金属投資に関心を寄せなくなったことが背景にあるようだ。

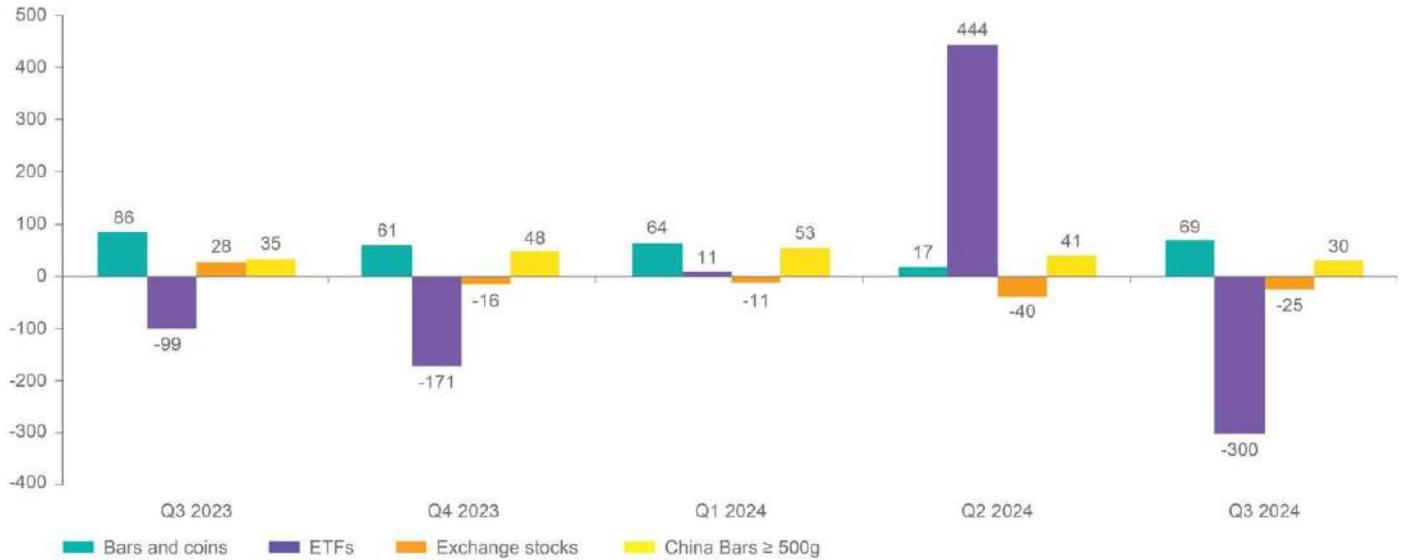
日本のプラチナインゴットの需要は、宝飾品同様にゴールドに比べた割安感に支えられて好調だった。グロスベースの販売量は過去の水準と比べて高くはないが、年初からは増えている。売却が少なかった点は特に興味深く、結果、ネットベースの需要は2024年第2四半期の売り越し 1.306 トンから、第3四半期は 0.902トンに転じた。

中国の個人投資家需要は前年同期比で 10% 増加したが、前期比では 14% 減った。第2四半期はゴールドとプラチナの価格差が今までにないほど大きく開いたのを受けて、バーゲンハンティング目的でプラチナを購入した投資家が多かったが、第3四半期は大きく上昇したゴールドに比べたプラチナのパフォーマンスに失望した投資家もいたようだ。

2024年第3四半期の ETF は何度か大きく売られた局面があり残高は 9.3トン減って 100.2トンとなった。日本銀行が8月初めに利上げを行ったことでマーケットが動き、欧州のETFが売られた場面もあった。9月のFRB会合に先立って、欧州ファンドは再び大きく売られた。

NYMEX と TOCOM の保有在庫は4期続けて減って 4.6トンとなり、2011年8月以来最低の水準となった。

チャート4：プラチナ投資 (koz)



出典：メタルズフォーカス社

2024年の予測

国際通貨基金 (IMF)は、2024年の世界経済を力強さに欠けるとしている。米国経済は上向いているが、欧州と中東は紛争や海運の供給網の寸断などで打撃を受けている。PGM バスケット価格は低迷しているが、鉱山供給は堅調で、今回我々は2024年全体の予測を 1% 上げて 176.7トンに上方修正した。スクラップ供給も 3% 増える予測で、これらを合わせた世界のプラチナ供給は 226.1 トンになるだろう。

自動車生産台数の予測が下がり、2年間拡大が続いた化学産業の需要が減ることを受けて、2024年は自動車と工業のプラチナ需要が減り、投資需要も少し減る予測だ。対照的なのは宝飾品需要で、他の低迷を十分に補うほど好調だ。世界のプラチナ需要は 247.3トン、供給不足は 21.2トンになるだろう。

チャート5：2013年から2024年の需要供給バランス (koz)



出典：2013年～2018年はSFA(オックスフォード)、2019年～2024年はメタルズフォーカス社

供給

2024年の鉱山供給はこれまでのところ、昨年まで多発した生産中断もなく非常に安定している。南アフリカのエネルギー危機はほぼ解消し計画停電の影響はほとんど見られない。大手生産会社は全社で今年の生産目標を達成できる見込みだが、これは元の目標が計画停電の影響を考えて慎重な数字だったという理由にもよる。

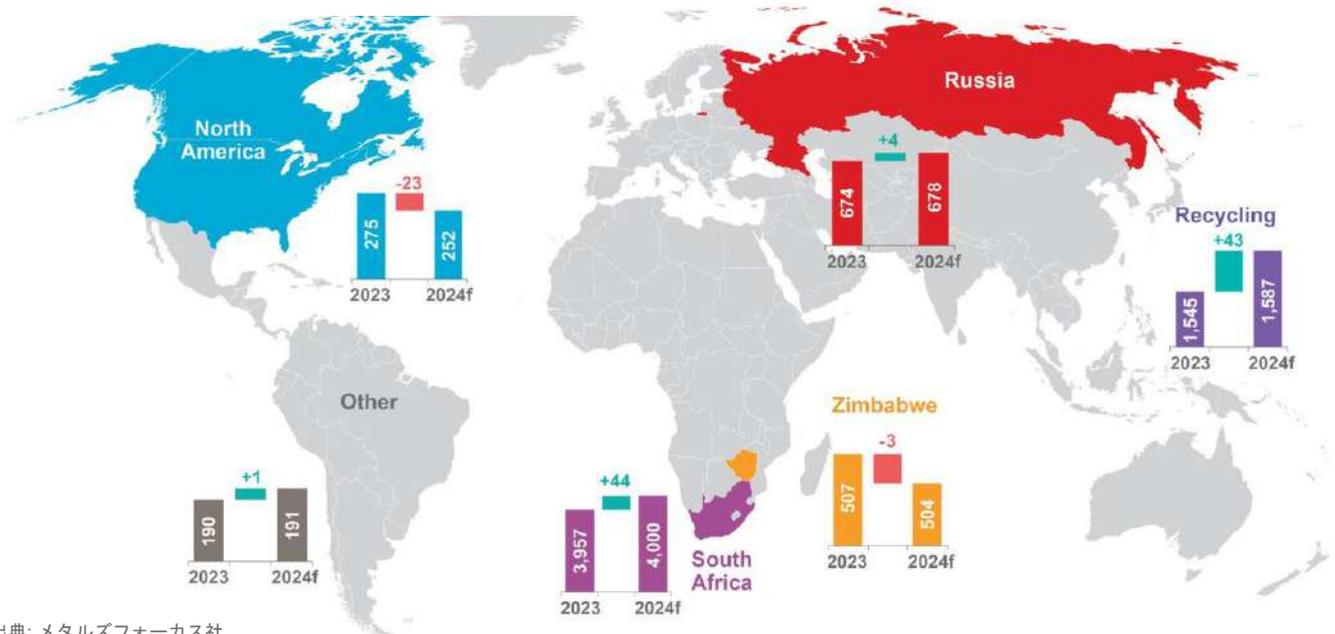
今年は、プラチナ生産会社数社が計画されていた溶鉱炉の再構築を行なったが、それもほぼ終了し安定した生産活動に戻っている。中には精錬能力が増えた企業もあり、生産を中断するような事態になればバッファーとなるだろう。アムプラッツでは半加工在庫を予定よりも早く処理できたため、第3四半期に2024年の生産目標を約4.4トン増やした。

これを受けて、我々は2024年の南アフリカの供給予測を3.6トン増やし、124.4トンとした(前年比で+1%)。しかし、精錬プラチナ生産は半加工在庫の処理のおかげで嵩上げされているが、採掘量が増えているわけではない。ほとんどの生産会社では採掘された鉱石の有用鉱物含有率の低下を報告しており、半加工在庫の処理が終われば精錬プラチナ生産高は減ることになるだろう。

前回の『プラチナ四半期レポート』では、ノリリスクニッケルの Nadezhda Metallurgical Plant の第2溶鉱炉の再構築が予定よりも早く終了すれば生産が増える可能性がある旨指摘したが、実際、再構築は90日が予定のところを60日で終わり、ノリリスクニッケルは今年の生産目標を約2.1トン増やすことができた。したがって我々も2024年のロシアの供給予測を0.995トン増やして21.1トンに上方修正し、前年とほぼ変わらない生産量となった。

北米のプラチナ供給は、シバニエ・スティルウォーターの米国鉱山では増産になるだろうが、ヴァーレのカナダのニッケル鉱山の減産で相殺されてしまい、前年比で8%減って7.8トンの予測。ジンバブエの生産は安定し、15.7トンとなる予測。

チャート6：2023年と2024年の供給の変化 (koz)



出典: メタルズフォーカス社

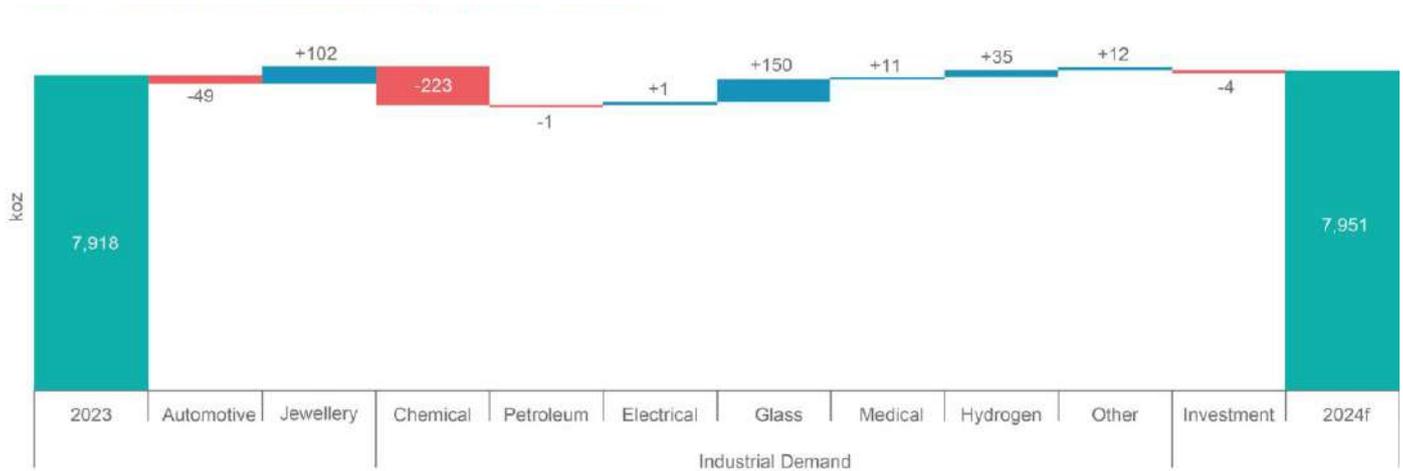
リサイクル

過去2年間大きく停滞していた廃触媒市場は安定している。新車の在庫が増え、消費者が長い期間待つことなしに古い車から乗り換えることができるようになったことで、消費者からスクラップヤードへ、そこから精錬所へ動く廃素材が滞りなく流通するようになったからだ。地域によっては車両価格が下がっており、また金利が下がれば車のリース料率も下がるとの期待がある。こういった要因でリサイクル網に乗る廃車の増加し、リサイクルからのプラチナ供給は 3% (1.337トン) 増えて 49.4トンになるだろう。宝飾品のリサイクルは、価格の上昇、中国での在庫入れ替え、日本での買い戻しが減る予測のため、10% 減る予測。電子材リサイクルはデータセンターのアップグレードのおかげで 8% (0.187トン) 増えて 2.4トンになるだろう。

需要

世界のプラチナ需要は、宝飾品需要は 5% (3.2トン)増えるが、自動車、工業、投資需要は低迷し、前年からの増加は 1.026トンにとどまり、全体で 247.3トンになる予測。

チャート7：2023年と2024年（予測）の分野別需要の変化



出典: メタルズフォーカス社

自動車需要

世界の普通乗用車の生産台数予測は3期続けて下方修正され、現在の予測は前年比マイナス 1% の 9040万台になる見通し。欧州と北米の需要が弱く、特に西欧の工場は BEV 市場の鈍化に大きな打撃を受けている。消費者が車を利用しなくなったこと、コスト高、輸出市場の問題、BEV 販売の低迷などメーカーは多くの問題を抱え、マージンを減らさないために2024年を通じて車両価格を下げられない。大型輸送車の生産は、メーカーが過去2年間で納期が遅れていた注文の対応に専念したおかげで、今ではバックログがほぼ解消したが、現在は新車注文が減って生産は停滞気味だ。一般道を走行しない車両は、経済支援策のもとで前倒し注文されていた車両が多かったため、3年連続で生産は増えないだろう。以上をまとめると、2024年の自動車のプラチナ需要は 2% (1.524トン) 減って 98.7トンの予測となる。

欧州の需要は純粋なエンジン車の生産がハイブリッド車の生産に追い抜かれ、プラチナ需要は 12% (4.4トン) 減る予測。大型輸送車生産の減産も追い討ちをかける。西欧の普通乗用車のディーゼル車の需要は上向かず、生産はさらに 14% 減るだろう。

北米の自動車生産も 1% 減の見込みだが、ハイブリッド車、大型エンジンを搭載した SUV、ピックアップトラックの生産、プラチナを多く使うトリメタル触媒装置が増えて、プラチナ需要は 6% 増える予測。

日本ではエアバッグ検査と型式指定を巡る不正問題などで工場の操業停止やリコールが起き、自動車生産が前年比で 9% 減った。エンジン車の生産は 14% 減るが、ハイブリッド車は 2% 増える見込み。ディーゼル車は増産予測だが、エンジン車の減産を補うことはできない。このような中でもプラチナ需要は 2% (0.156トン) 増えるだろう。

中国では年内いっぱい車の買い替えに対する補助金が出るため、プラチナ需要は 5% (0.933トン) 増える予測。その他の地域は、ハイブリッド車生産が 25%、ガソリン車生産が 2% 増えてディーゼル車の減産を補うことで、プラチナ需要は前年比 4% 増、0.622トン増えるだろう。2024年全体を通じ、トリメタル触媒装置でパラジウムの代替として使われるプラチナの需要は 23.4トンに達するだろう。

宝飾品需要

2024年の世界のプラチナ宝飾品需要は前年比 5% (3.2トン) 増えて 60.7トンになるだろう。

欧州は第 4 四半期も好調が続く見込みで、通年で 3% の需要増となるだろう。大衆向け市場とブライダルセクターは米国に比べてラボグロウン（合成）ダイヤモンドの受け入れが進まず、プラチナ需要が伸びていないが、高級品セクターは堅調だ。高級品ブランドが中国市場の低迷に打撃を受けている中で意外かもしれないが、実際影響を受けているのはエントリーレベルの高級品需要だけで、プラチナを商品に多く使う最高級品セクターは堅調だ。

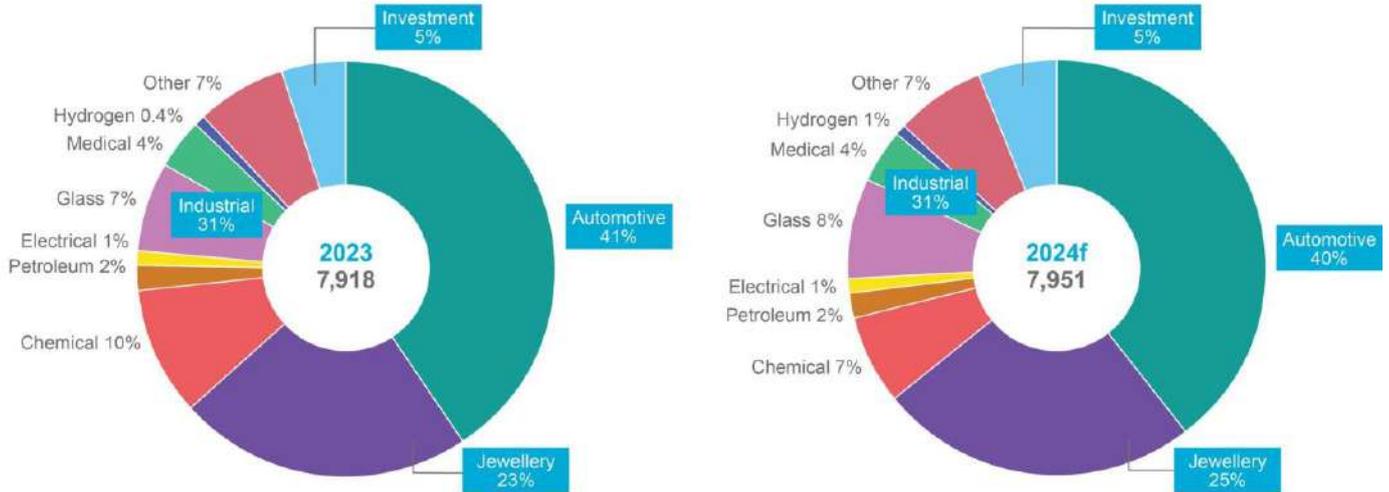
北米ではラボグロウンダイヤモンドの普及などでプラチナが主の婚約指輪の伸びに期待がもたれており、第 4 四半期のプラチナ需要は上向くだろう。小売の在庫整理も終わったが、10月は大統領選挙が販売高に影響した。2024年全体では 2% 増えて、需要が多かった2022年に並ぶだろう。

日本ではブライダルセクター以外の分野の好調が続き、昨年の第 4 四半期が良くなかったこともあって今年の需要は、前年比では 8% と大きく伸びて 11.4トンになり、2019年以来最も多くなるだろう。

中国では、第 1 四半期から第 3 四半期でプラチナ宝飾品製造は前年比マイナス 4% となった。第 4 四半期も経済の低迷と萎縮した消費者センチメントが回復する兆しはない。昨年の第 4 四半期は小売店が圧倒的にゴールド商品に集中した在庫構成を行なったために、プラチナ需要は元々非常に少なかった。そのため今年の第 4 四半期は相対的に変化がなく、2024年全体のプラチナ需要はマイナス 3% の 12.3トンの予測。

インドのプラチナ宝飾品製造は輸出と小売網の拡大で前年比 22% (+1.40トン) 増えて 7.7トンになる予測だが、輸出がこれまでのペースで拡大するとは考えられないため、前回の予測を下方修正した。しかし、インドのプラチナ宝飾品需要の全般的な成長に変化はない。小売店網が大都市以外の 2 級、3 級都市にまで広がれば、新たな消費者層が呼び込まれ、プラチナ商品の需要がさらに高まるだろう。所得が高くブランド意識も高い若い世代を中心に、自分用の宝飾品を頻繁に購入するようになっており、プラチナ需要がさらに高まる素地はある。中規模の宝飾品店もマージンの高いプラチナ宝飾品を取り揃えるようになっており、この方面でも新しい消費者層の関心を引くことができるだろう。

チャート 8 : 2024年（予測）と2023年の分業別需要



出典: メタルズフォーカス

工業需要

過去2年で大きく増加した工業のプラチナ需要の2024年予測は、ガラス産業で増えるが化学産業で減るため 1% 減って 75.7トン。

ガラス

2024年のガラスのプラチナ需要は 29% 増えて 20.9トンになり、過去最高の 23.4トンだった 2021年に次ぐ年となるだろう。2021年同様に中国の LCD 生産能力増強が大きな要因で、日本、韓国、台湾の工場閉鎖による需要減を十分に補うだろう。グラスファイバーの需要は昨年と変わらず安定している。欧州の需要は昨年、工場閉鎖に影響を受けたが、今年はない。しかし、そのほかの地域の低成長が全体の需要増に重圧になっている。

医療

2024年の医療のプラチナ需要は 4% (0.342トン) 増えて 9.4トンになる予測。医療機器のプラチナ需要が最も大きいですが、世界的に罹患率が上がっている癌の治療に対する投資が増えて腫瘍学で研究が進み、癌治療のプラチナ需要が相対的に大きく伸びている。

化学

化学産業のプラチナ需要は、第4四半期に伸びる兆しはあまりなく、2024年全体はマイナス 28%、6年ぶりの低い水準となる 17.5トンの予測。2019年から2023年に中国の新しい PX と PDH 工場への大規模な投資が化学産業のプラチナ需要を押し上げた時と逆で、今度は中国の成長が鈍化したことがプラチナ需要減の直接の原因だ。硝酸生産のプラチナ需要が伸びないのは、ロシアのウクライナ侵攻で燃料価格が高騰した2022年の供給網の混乱の後に、反発して需要が増加した2023年の状況が平常化した部分もある。また、肥料価格の下落とコスト高で新たな工場に対する投資が減っている。対照的にシリコン産業のプラチナ需要は安定している。

石油

2024年の石油産業のプラチナ需要は前年とあまり変わらず 5.0トンの予測だが、地域別の需要は安定しているわけではない。史上最高の生産高に支えられている米国、アフリカと中東の石油精製所の需要は好調だが、中国では石油消費が下落し石油化学コンビナートの建設が減ったことでプラチナ需要は低迷している。また欧州でも利益率が下がって精製工場が閉鎖されたためプラチナ需要は伸びていない。

電子材

AI の急速な発展は SSD との競争で劣勢だった HDD 市場に新しい活気をもたらしている。HDD の出荷数は、ピークだった2010年以降下落し続けていたが、今年は初めて上向き予測だ。コストパフォーマンスに優れる HDD は、特に大量生産に向く次世代高密度ハードディスクの登場で、今後2年間は需要増が期待できる。AI サービスを提供するために行われるインフラのアップグレードはHDD のプラチナ需要を生み出す要因で、その需要は来年も続くだろう。

定置型燃料電池とその他の水素関連

この分野のプロジェクトは初期の投資額が大きく、政府の援助金や助成金が支給されるタイミングにも依存するために実行が遅れが生じることが多いが、それでも2024年のプラチナ需要は 2.0トンに増えるだろう。燃料電池で走る大型輸送車両の生産は毎期1000 台を超え、2023年と比べて 72% の増加。自動車の PGM 需要は水素関連分野のみではないが、水素バリューチェーンの中で水素ネットワークとグリーン水素の生産を支えるという意味では、水素を使う自動車の普及は非常に重要だ。

その他

2024年のその他の工業分野(スパークプラグとセンサー、PGM を使うアフターマーケット製品)のプラチナ需要は 2% 増える予測。ハイブリッド車の増加、車の使用期間の伸び、規制の厳格化に伴う船舶機器の需要増、宇宙航空産業の需要なども、エンジン車の減産によるプラチナ需要の減少を補っている。

投資需要

2024年の世界のプラチナインゴットとコインの投資需要は、日本の投資がネガティブに転じ、北米の需要も減ったことで、ほとんど半減 (-4.7トン) し、10年来低い 5.3トンの予測。

北米の個人投資家のインゴットとコインの需要は 30% 減り (1.6トン) 7年ぶりに 3.7トンという低い水準になる予測。上述したようにプラチナだけでなくゴールドとシルバーの需要も減っている。2024年は、2015年以来毎年発行されていたプラチナイーグル地金コインが発行されない初めての年となった。イーグルコインはピークだった 2022年には 2.5トンも需要があったが、2023年はわずか 0.404トンしか製造されなかった。今回我々の基本予測データには含まれていないが、コストコがゴールドとシルバーに続いてプラチナ投資商品の販売を始め、幾分需要が補われた面もあると思われる。

欧州のプラチナ投資は、年初からの貴金属地金商品全般に弱い需要が第4四半期も続く予測で、2024年全体の予測も低迷した昨年と変わりはない。

日本では、高い水準の円建てプラチナ価格から考えると第4四半期はネットで売り越しになる予測。2024年全体で 1.244トンの売り越し、第 4 四半期は 0.933トンの売りになる予測。

中国は、2024年の個人投資家需要の伸びを 20% としていたが、今回 18% に修正した。プラチナがゴールドの上昇に追随せずに横ばいで推移したことで失望が広がり、プラチナの需要に騒ぎが出始めたからだ。

2024年のプラチナ ETF 残高は 4.7トン増える予測で、これは年初から流入した水準にほぼ等しい。

地上在庫

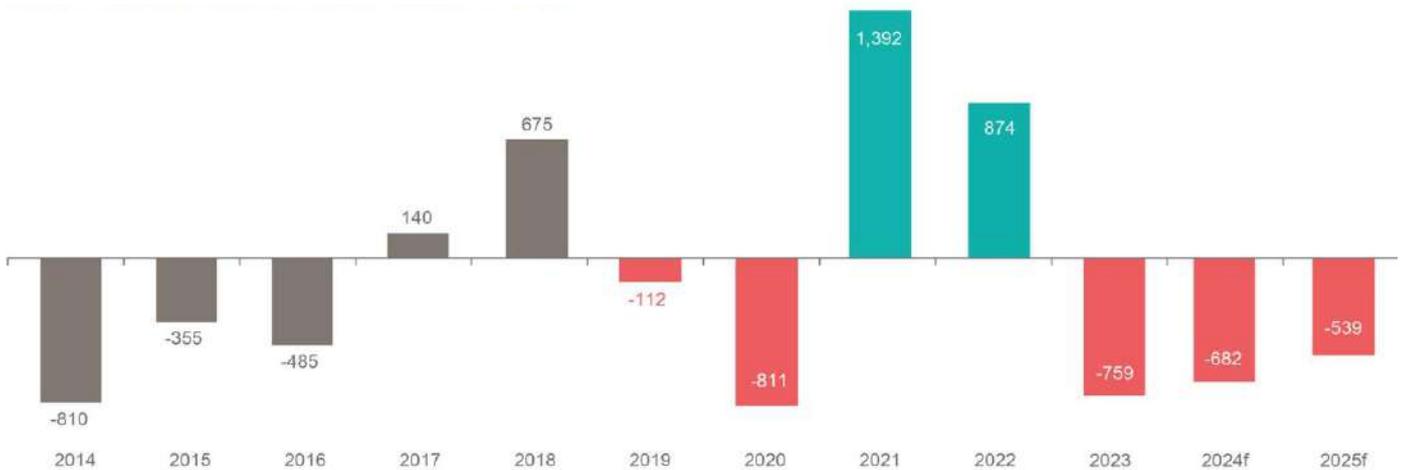
2024年は 21.2トンの供給が不足するため、地上在庫は年末までに5ヶ月分の需要となる 110.5トンに減る。

WPIC が定義する地上在庫とは、年末の時点での、上場投資信託に依らず、取引所保有ではない、鉱山生産者・精錬所・宝飾製造会社の加工在庫ではなく、消費者が所有していないプラチナの総量をいう。

2025年の展望

さて、2025年の焦点はやはり、各地域の政権の動きとそれが金融市場や貴金属市場に及ぼす影響になるだろう。プラチナ供給に関しては、鉱山業界の再編が2024年にほぼ終わって2025年は統合の年となり、鉱山供給は2%減って、172.6トンになる予測だ。リサイクル供給はコロナ禍以前に近い水準に回復するだろう。需要の方は、インフレが安定して金利が下がり、自動車生産は回復するだろうが、工業需要は、2023年と2024年に増加が続いたガラス産業のような需要の活況は望めないだろう。投資需要は特に中国の需要に期待が高まる。2025年の供給不足は16.8トンとなる予測。

チャート5：2014年から2025年の需要供給バランス (koz)



出典：2013年～2018年はSFA(オックスフォード)、2019年～2025年予測はメタルズフォーカス社

供給

2025年のプラチナの供給は前年比で1%増えて227.8トンになるだろう。2024年第3四半期終わりの時点でイムプラッツとノーザムは溶鉱炉の再構築の作業の間に蓄積した7.2トン、1.9トンほどの半加工在庫をそれぞれ抱えており、両社ともこの在庫の処理に3年はかかるとしている。したがって、2025年の精錬プラチナ生産は南アフリカの半加工在庫の処理に大きく依存することになる。

南アフリカでは2024年の間に生産コストに影響を及ぼすインフレは安定したが、PGM 価格の低迷が続いたために、コスト高の生産会社はまだ問題を抱えている。PGM 価格が上がらないため、Two Rivers Merensky プロジェクトや Platreef プロジェクトなど生産増に貢献すると期待されていたプロジェクトは、当初のスケジュールから大きく遅れたり、一時停止になったりしている。PGM 鉱山業界ではコスト削減策として、約9000人に及ぶ人員削減が行われたが、現在のPGM 価格だと数社では収益が上がらない状況で、業界はPGM 価格に対して非常に敏感になっている。今後PGM 価格がさらに下落すれば、より大掛かりな再編が必要になる可能性もあり、2025年の鉱山供給の予測は下がるリスクがある。

ロシアのノリリスクニッケルは対ロシア制裁で欧米からの資材供給ができず、資金調達のための国際金融市場へのアクセスも制限されている。このため、ノリリスクニッケルは中期生産目標の公表をしておらず、以前発表されていた生産拡張計画が実現しない可能性があるため、2025年のロシアのプラチナ生産に増加は望めないだろう。

米国では、パラジウム価格の下落でシバニュー・スティールウォーターの収益に影響が及び、再編が実行された。9月の計画発表にはスティールウォーターウエスト鉱山の停止と East Boulder の減産が含まれている。2025年の生産目標は45%も少なく、北米の生産は減ることになる。

こういったことから、2025年のプラチナの鉱山生産は 1% 減って 172.6トンになる予測。リサイクルに関しては、2025年は新車の供給に制限はなく、政治不安と価格上昇への期待からスクラップヤードが資材を溜め込むという動きも予想されないことから、自動車触媒のリサイクルは平常の水準まで回復すると思われる。また昨今増えている自然災害で廃車になる車両の増加、中国政府の乗り換え奨励による廃車の増加などから、リサイクルされる車両はさらに増える可能性もある。宝飾品のリサイクルも2025年はメタル価格の上昇で 4% 増える予測。

需要

世界のプラチナ需要は、主に工業需要の低迷で 1% (2.7トン) 減って 244.5 トンになる予測。自動車セクターでは当初2024年に予測されていた生産台数が達成できず、そのまま2025年の予測台数となって、結果、2025年の世界の自動車のプラチナ需要は 2% 増えて 100.9トンになるだろう。このうち普通乗用車生産は 3% 増えて 9270万台だが、自動車触媒を搭載する車両の生産は 1%減る予測。金利が下がったことと、メーカーが法規制の変更に伴って BEV とハイブリッド車販売の両方に焦点を合わせる戦略に方向転換するため、プラチナ需要は増えるだろう。例えば、欧州で実行される予定の CO₂ 罰則 は、2021年をベースとした排出量から 15% 減らすことを目標とし、生産される車両全体の平均排出量が定められているが、ハイブリッド車生産は 17% 増える予想だ。米国では、2026年モデルから適用される「LEV IV」規制で、2025年半ばからは PGM をより多く使う自動車触媒を搭載した車が增多すると考えられるが、こういった技術が採用されるかによってプラチナ需要は減る可能性も増える可能性もある。一方、中国では BEV を抜いてハイブリッド車生産が 13% 増える予測で、それがプラチナ需要を支えるだろう。

宝飾品セクターは全ての主要市場で需要が増え、全体で 2% (0.995トン) 増えて 61.7トンになる予測。欧州では、ホワイトゴールドとの比較で大衆市場向けの商品の割安感が増し、消費者センチメントが回復して需要を支えるだろう。しかし、高級品市場の先行きは不透明で、小売店で在庫管理が慎重になって消費の伸びを抑える可能性がある。北米では、婚約指輪市場の展望が明るく、大統領選挙が終わって消費者センチメントが好転していることと、ダイヤモンドの価格が安定していることでプラチナ需要は増える予測。中国でも、大手小売が在庫を補充すること、男性向けや男女兼用の商品など幅広い消費者にアピールする商品開発が進んでいることなどでプラチナ宝飾品の製造は増える予測。インドでは、市場の成熟とともに小売チェーン店の拡大が鈍化すると思われるが、関税が引き下げられたことで国内のプラチナ価格が下がり、プラチナ宝飾品の人気の小都市でも高まっており、2025年はさらに成長が見込まれる。

2025年の工業のプラチナ需要は 6.8トン減って 68.9トンになる予測。各地の LCD 生産能力拡大には同時期にまとめて拡大を行うことによる経済性と需要の自然なサイクルを利用するために周期性があり、2025年のガラス産業は前年比で 57% (12.0トン) 減って 8.9トン、2019年以来最低の水準になるだろう。化学産業のプラチナ需要は 2024年に大きく減ったが、2025年は石油化学産業のプラチナ触媒需要のおかげで 17% 増えて 20.4トンと回復するだろう。石油産業のプラチナ需要は 31% 増えて 6.6トンの予測で、2022年から2023年には行われなかったガス・ツー・リキッド (GTL) 燃料生産の触媒交換が予定されていることが背景。(世界の GTL 施設の数はいずれもそれほど多くないため、触媒交換はプラチナ需要を大きく左右する。) この GTL 需要を除くと、接触改質プロセスと異性化プロセス装置のプラチナ需要は石油精製能力の増強を背景に増えるだろう。しかし、石油需要があまり増えない中で石油の供給量が増えて収益を圧迫するとされているため、増加幅はそれほど大きくないだろう。医療のプラチナ需要は、人口の高齢化と健康医療の普及で現在の傾向が2025年も続き、4% (0.342トン) 増えて 9.8トンになるだろう。

来年の世界のプラチナインゴットとコインの需要は 12% (0.622トン) 減って 4.7トンで、11年ぶりの低い水準になるだろう。これは日本で大きく売り越しとなって、他の市場で増える需要を相殺してしまうとされているため。2025年は北米の個人投資家の需要が 3年ぶりにプラスに戻る予測。だがそれでも2020年～2022年の水準には届かないとみられているのは、2023年以降はプラチナイーグルコインが発行されていないことが一因にある。2025年の中国の個人投資家需要は再び 10% 伸びる予測。来年はプラチナ価格が上昇する予測であること、その他に投資できる商品があまり多くないこと、プラチナに対する関心が高まっていることなどがその背景だ。また、日本ではプラチナ価格がそれほど大きく上昇しなくても、約10年前に安値で購入したインゴットとコインを保有する投資家が売却に動くと考えられているため、2025年の日本の投資需要はネガティブの 2.5トンとなる予測。2025年のプラチナ ETF の残高は、欧州での利益確定売りの動きよりも、電動化が遅れると見越す投資家が北米のファンドを購入する方が多くなって、1.555トン増える予測。

地上在庫

2025年は16.8トンの供給が不足するため、地上在庫は年末までに4ヶ月分の需要となる93.7トンに減る。

WPIC が定義する地上在庫とは、年末の時点での、上場投資信託に依らず、取引所保有ではない、鉱山生産者・精錬所・宝飾製造会社の加工在庫ではなく、消費者が所有していないプラチナの総量をいう。

PLATINUM QUARTERLY Q3 2024

表2：供給、需要、地上在庫のまとめ — 年間比較

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024f	2025f	2024f/2023 Growth %	2025f/2024f Growth %
Platinum Supply-demand Balance (koz)														
SUPPLY														
Refined Production	4,875	6,160	6,145	6,130	6,125	6,074	4,988	6,295	5,520	5,604	5,626	5,550	0%	-1%
South Africa	3,135	4,480	4,365	4,385	4,470	4,374	3,298	4,678	3,915	3,957	4,000	3,929	1%	-2%
Zimbabwe	405	405	490	480	465	458	448	485	480	507	504	522	-1%	3%
North America	395	365	390	360	345	356	337	273	263	275	252	232	-8%	-8%
Russia	740	710	715	720	665	716	704	652	663	674	678	676	1%	0%
Other	200	200	185	185	180	169	200	206	200	190	191	191	0%	0%
Increase (-)/Decrease (+) in Producer Inventory	+350	+30	+30	+30	+10	+2	-84	-93	+43	+11	+57	+0	>±300%	-100%
Total Mining Supply	5,225	6,190	6,075	6,160	6,135	6,076	4,904	6,202	5,563	5,615	5,683	5,550	1%	-2%
Recycling	2,055	1,720	1,860	1,915	1,955	2,110	1,996	2,106	1,762	1,544	1,587	1,774	3%	12%
Autocatalyst	1,255	1,185	1,210	1,325	1,430	1,565	1,508	1,618	1,322	1,143	1,176	1,346	3%	14%
Jewellery	775	515	625	560	505	476	422	422	372	331	335	347	1%	4%
Industrial	25	20	25	30	30	69	66	67	69	71	76	81	8%	6%
Total Supply	7,280	7,910	7,935	8,075	8,090	8,186	6,900	8,308	7,326	7,159	7,269	7,324	2%	1%
DEMAND														
Automotive	3,220	3,245	3,360	3,300	3,115	2,691	2,193	2,441	2,751	3,223	3,173	3,245	-2%	2%
Autocatalyst	3,080	3,105	3,225	3,160	2,970	2,691	2,193	2,441	2,751	3,223	3,173	3,245	-2%	2%
Non-road	140	140	135	140	145	†	†	†	†	†	†	†	N/A	N/A
Jewellery	3,000	2,840	2,505	2,460	2,245	2,106	1,830	1,953	1,880	1,849	1,951	1,983	5%	2%
Industrial	1,720	1,875	2,020	1,900	2,040	2,237	2,105	2,526	2,336	2,449	2,434	2,216	-1%	-9%
Chemical	540	515	560	570	565	784	637	658	694	786	563	656	-28%	17%
Petroleum	60	170	220	120	235	219	109	169	193	161	161	211	0%	31%
Electrical	215	205	195	210	205	144	130	135	106	89	90	92	1%	2%
Glass	225	300	320	260	275	228	473	753	505	521	671	286	29%	-57%
Medical	225	240	235	235	235	277	256	267	278	292	303	314	4%	4%
Hydrogen Stationary and Other	†	†	†	†	†	29	28	17	12	29	64	84	123%	32%
Other	455	445	490	505	525	556	473	528	548	571	582	574	2%	-1%
Investment	150	305	535	275	15	1,264	1,582	-3	-516	397	393	420	-1%	7%
Change in Bars, Coins	50	525	460	215	280	278	593	349	259	322	171	151	-47%	-12%
China Bars ≥ 500g	†	†	†	†	†	16	23	27	90	134	157	170	17%	8%
Change in ETF Holdings	215	-240	-10	105	-245	991	507	-241	-558	-74	150	50	N/A	-67%
Change in Stocks Held by Exchanges	-115	20	85	-45	-20	-20	458	-139	-307	14	-85	50	N/A	N/A
Total Demand	8,090	8,265	8,430	7,935	7,415	8,298	7,710	6,917	6,451	7,918	7,951	7,863	0%	-1%
Balance	-810	-355	-485	140	675	-112	-811	1,392	874	-759	-682	-539	N/A	N/A
Above Ground Stocks	2,580*	2,225	1,740	1,880	2,555	3,538**	2,728	4,119	4,993	4,235	3,553	3,014	-16%	-15%

出典：メタルズフォーカス（2019年から2025年）、SFA（オックスフォード）社（2014年から2018年）

注：

1. 地上在庫：*128.8トン 2012年12月31日時点（SFA（オックスフォード）社）。**113.5トン 2018年12月31日時点（メタルズフォーカス社）。
2. †一般道路を通行する車両以外の自動車需要は自動車触媒需要に含まれる。
3. メタルズフォーカス社、SFA（オックスフォード）社のデータは必ずしも同じ比較対象ベースを使っているわけではない。
4. 2019年以前のSFA（オックスフォード）社のデータはそれぞれ単独で5koz単位で四捨五入。

PLATINUM QUARTERLY Q3 2024

表3：需要と供給のまとめ—四半期ごとの比較

	Q3 2022	Q4 2022	Q1 2023	Q2 2023	Q3 2023	Q4 2023	Q1 2024	Q2 2024	Q3 2024	Q3'24/Q3'23 Growth %	Q3'24/Q2'24 Growth %
Platinum Supply-demand Balance (koz)											
SUPPLY											
Refined Production	1,390	1,328	1,192	1,486	1,393	1,532	1,225	1,541	1,479	6%	-4%
South Africa	978	931	778	1,051	984	1,143	795	1,128	1,073	9%	-5%
Zimbabwe	118	123	116	126	132	133	132	126	126	-5%	1%
North America	67	65	71	73	60	72	71	59	60	0%	2%
Russia	179	160	180	190	168	136	178	181	172	2%	-5%
Other	51	49	48	46	48	48	48	48	48	-2%	0%
Increase (-)/Decrease (+) in Producer Inventory	-2	+23	+33	+8	-6	-23	+22	+35	+0	N/A	-100%
Total Mining Supply	1,387	1,351	1,226	1,494	1,387	1,509	1,246	1,576	1,479	7%	-6%
Recycling	419	428	400	383	347	415	377	388	348	0%	-10%
Autocatalyst	313	320	287	290	254	312	275	297	260	2%	-13%
Jewellery	90	92	95	76	75	85	85	72	68	-10%	-5%
Industrial	17	17	17	17	17	18	17	19	20	14%	6%
Total Supply	1,807	1,780	1,626	1,877	1,733	1,923	1,624	1,964	1,827	5%	-7%
DEMAND											
Automotive	669	715	816	817	771	819	831	805	750	-3%	-7%
Autocatalyst	669	715	816	817	771	819	831	805	750	-3%	-7%
Non-road	†	†	†	†	†	†	†	†	†	N/A	N/A
Jewellery	476	458	458	473	446	472	479	497	478	7%	-4%
Industrial	552	556	606	740	490	613	650	667	565	15%	-15%
Chemical	120	275	269	220	147	150	157	140	137	-7%	-2%
Petroleum	49	52	42	41	39	39	40	40	40	3%	0%
Electrical	26	24	23	23	22	22	22	23	24	10%	5%
Glass	151	2	56	234	64	167	204	225	125	96%	-44%
Medical	69	69	78	72	71	72	72	77	78	10%	1%
Hydrogen Stationary and Other	3	3	4	5	7	12	12	14	17	131%	25%
Other	135	132	137	145	139	150	142	148	144	3%	-3%
Investment	-226	-30	229	195	50	-77	117	462	-226	N/A	N/A
Change in Bars, Coins	103	2	128	47	86	61	64	17	69	-20%	296%
China Bars ≥ 500g	23	23	31	20	35	48	53	41	30	-14%	-28%
Change in ETF Holdings	-217	-62	40	155	-99	-171	11	444	-300	N/A	N/A
Change in Stocks Held by Exchanges	-134	7	29	-27	28	-16	-11	-40	-25	N/A	N/A
Total Demand	1,471	1,699	2,110	2,226	1,756	1,826	2,077	2,431	1,567	-11%	-36%
Balance	336	80	-484	-348	-23	97	-454	-467	260	N/A	N/A

出典：メタルズフォーカス（2022年から2024年）

注：

1. †一般道路を通行する車両以外の自動車需要は自動車触媒需要に含まれる。

PLATINUM QUARTERLY Q3 2024

表4：需要と供給のまとめ一半年ごとの比較

	H1 2022	H2 2022	H1 2023	H2 2023	H1 2024	H1'24/H1'23 Growth %	H1'24H2'23 Growth %
Platinum Supply-demand Balance (koz)							
SUPPLY							
Refined Production	2,802	2,718	2,679	2,925	2,766	3%	-5%
South Africa	2,007	1,908	1,829	2,127	1,923	5%	-10%
Zimbabwe	241	239	242	265	258	7%	-3%
North America	131	132	143	132	130	-9%	-1%
Russia	324	339	370	304	359	-3%	18%
Other	100	100	94	96	96	2%	0%
Increase (-)/Decrease (+) in Producer Inventory	22	21	41	-30	57	38%	N/A
Total Mining Supply	2,825	2,739	2,720	2,895	2,823	4%	-3%
Recycling	914	848	783	761	765	-2%	0%
Autocatalyst	689	632	577	565	573	-1%	1%
Jewellery	191	181	171	160	156	-9%	-2%
Industrial	34	34	35	36	36	4%	1%
Total Supply	3,739	3,587	3,503	3,657	3,588	2%	-2%
DEMAND							
Automotive	1,367	1,385	1,633	1,589	1,636	0%	3%
Autocatalyst	1,367	1,385	1,633	1,589	1,636	0%	3%
Non-road	†	†	†	†	†	N/A	N/A
Jewellery	946	934	932	918	976	5%	6%
Industrial	1,228	1,108	1,346	1,103	1,317	-2%	19%
Chemical	300	395	489	297	297	-39%	0%
Petroleum	92	101	83	78	80	-3%	3%
Electrical	57	49	45	44	45	0%	2%
Glass	353	153	290	231	430	48%	86%
Medical	139	138	149	144	149	0%	4%
Hydrogen Stationary and Other	6	6	9	20	26	189%	32%
Other	282	266	282	289	290	3%	0%
Investment	-260	-256	424	-27	580	37%	N/A
Change in Bars, Coins	154	105	175	147	82	-53%	-44%
China Bars ≥ 500g	45	45	51	83	94	84%	13%
Change in ETF Holdings	-278	-280	196	-270	455	133%	N/A
Change in Stocks Held by Exchanges	-181	-127	2	12	-51	N/A	N/A
Total Demand	3,281	3,171	4,335	3,583	4,508	4%	26%
Balance	458	416	-832	74	-921	N/A	N/A

出典：メタルズフォーカス社（2019年から2024年）

注：

1. †一般道路を通行する車両以外の自動車需要は自動車触媒需要に含まれる。

PLATINUM QUARTERLY Q3 2024

表5：地域毎の需要 — 各年と四半期比較

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024f	2025f	2024f/2023 Growth %	2025f/2024f Growth %	Q3 2023	Q4 2023	Q1 2024	Q2 2024	Q3 2024
Platinum Gross Demand (koz)	3,220	3,250	3,350	3,290	3,115	2,691	2,193	2,441	2,751	3,223	3,173	3,245	-2%	2%	771	819	831	805	750
Automotive	3,220	3,250	3,350	3,290	3,115	2,691	2,193	2,441	2,751	3,223	3,173	3,245	-2%	2%	771	819	831	805	750
North America	455	480	410	390	390	312	268	341	413	449									
Western Europe	1,395	1,450	1,630	1,545	1,340	1,356	980	919	972	1,161									
Japan	585	510	450	435	425	289	225	253	250	296									
China	125	145	195	230	220	156	240	331	404	550									
India	170	180	170	175	200	††	††	††	††	††									
Rest of the World	490	485	495	515	540	579	480	597	712	768									
Jewellery	3,000	2,840	2,505	2,460	2,245	2,106	1,830	1,953	1,880	1,849	1,951	1,983	5%	2%	446	472	479	497	478
North America	230	250	265	280	280	341	277	409	448	438									
Western Europe	220	235	240	250	255	237	196	260	301	319									
Japan	335	340	335	340	345	372	316	298	333	338									
China	1,975	1,765	1,450	1,340	1,095	871	832	703	484	408									
India	175	180	145	175	195	109	59	123	171	203									
Rest of the World	65	70	70	75	75	176	151	159	144	144									
Chemical	540	515	560	570	565	784	637	658	694	786	563	656	-28%	17%	147	150	157	140	137
North America	55	55	50	50	50	81	103	109	110	137									
Western Europe	105	75	110	115	105	123	111	115	106	115									
Japan	10	10	15	15	15	66	62	65	66	61									
China	215	230	225	220	215	299	214	221	258	290									
Rest of the World	155	145	160	170	180	214	146	148	154	184									
Petroleum	60	170	220	120	235	219	109	169	193	161	161	211	0%	31%	39	39	40	40	40
North America	25	-25	90	55	55	30	5	32	44	44									
Western Europe	-20	35	10	5	20	14	11	18	30	22									
Japan	-35	5	0	-20	5	7	6	12	7	7									
China	-5	45	80	45	10	66	35	39	26	24									
Rest of the World	95	110	40	35	145	103	52	67	86	64									
Electrical	215	205	195	210	205	144	130	135	106	89	90	92	1%	2%	22	22	22	23	24
North America	15	15	10	15	15	38	35	35	28	24									
Western Europe	10	10	10	10	10	27	23	25	20	16									
Japan	15	15	15	15	15	20	16	17	14	12									
China	70	70	80	90	85	28	31	31	23	19									
Rest of the World	105	95	80	80	80	31	25	26	22	18									
Glass	225	300	320	260	275	228	473	753	505	521	671	286	29%	-57%	64	167	204	225	125
North America	5	0	10	5	5	-78	-25	17	26	42									
Western Europe	10	5	5	5	20	63	35	6	21	-85									
Japan	-10	0	-10	-10	0	-38	-63	7	-151	5									
China	175	195	225	165	120	175	385	757	524	571									
Rest of the World	45	100	90	95	130	106	142	-35	85	-11									
Medical	225	240	235	235	235	277	256	267	278	292	303	314	4%	4%	71	72	72	77	78
Other industrial	455	445	490	505	525	556	473	528	548	571	582	574	2%	-1%	139	150	142	148	144
Hydrogen Stationary & Other	†	†	†	†	†	29	28	17	12	29	64	84	123%	32%	7	12	12	14	17
Bar & Coin Investment	50	525	460	215	280	278	593	349	259	322	171	151	-47%	-12%	86	61	64	17	69
North America						155	234	256	258	169									
Western Europe						52	75	61	44	24									
Japan						46	240	-26	-114	54									
China						15	23	26	38	52									
Rest of the World						9	21	33	33	23									
China Bars ≥ 500g						16	23	27	90	134	157	170	17%	8%	35	48	53	41	30
ETF Investment	215	-240	-10	105	-245	991	507	-241	-558	-74	150	50	N/A	-67%	-99	-171	11	444	-300
North America						125	524	-6	-102	-61									
Western Europe						508	237	56	-313	-99									
Japan						-13	58	-23	-28	12									
Rest of the World						370	-312	-268	-116	74									
Change in Stocks Held by Exchanges	-115	20	85	-45	-20	-20	458	-139	-307	14	-85	50	N/A	N/A	28	-16	-11	-40	-25
Investment																			
Total Demand	150	305	535	275	15	1,264	1,582	-3	-516	397	393	420	-1%	7%	50	-77	117	462	-226
	8,090	8,270	8,410	7,925	7,415	8,298	7,710	6,917	6,451	7,918	7,951	7,863	0%	-1%	1,756	1,826	2,077	2,431	1,567

出典：メタルズフォーカス社（2019年から2025年予測）、SFA（オックスフォード）社（2014年から2018年）

注：

- † 水素と定置型燃料電池の需要は2019年以前はその他の工業需要に含まれる。
- †† インドの自動車需要はその他の地域に含まれる。
- メタルズフォーカス社、SFA（オックスフォード）社のデータは必ずしも同じ比較対象ベースを使っているわけではない。
- 2019年以前のSFA（オックスフォード）社のデータはそれぞれ単独で5koz単位で四捨五入。

PLATINUM QUARTERLY Q3 2024

表6：地域毎のリサイクル供給 — 各年と四半期比較

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024f	2025f	2024f/2023 Growth %	2025f/2024f Growth %	Q3 2023	Q4 2023	Q1 2024	Q2 2024	Q3 2024		
Platinum recycling supply (koz)																					
Automotive	1,255	1,185	1,210	1,325	1,420	1,565	1,508	1,618	1,322	1,143	1,176	1,346	3%	14%	254	312	275	297	260		
North America						520	458	504	395	351											
Western Europe						785	815	835	676	590											
Japan						116	109	117	85	73											
China						36	36	59	55	25											
Rest of the World						108	90	103	110	104											
Jewellery	775	515	625	560	505	476	422	422	372	331	335	347	1%	4%	75	85	85	72	68		
North America						3	3	3	3	3											
Western Europe						4	4	3	4	4											
Japan						187	162	160	165	136											
China						276	248	250	195	183											
Rest of the World						5	5	5	6	5											
Industrial	25	20	25	30	30	69	66	67	69	71	76	81	8%	6%	17	18	17	19	20		
North America						15	12	12	13	12											
Western Europe						11	10	11	11	13											
Japan						34	34	34	34	34											
China						7	7	8	9	9											
Rest of the World						2	2	2	2	2											

出典：メタルズフォーカス社（2019年から2025年予測）、SFA（オックスフォード）社（2014年から2018年）

免責条項: 当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものであるその使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物に掲載された2019年からメタルズフォーカス社によるリサーチは© Metals Focus Copyrightが著作権を有するものである。当出版物に掲載されたデータの全ての著作権およびその他の知的財産権はメタルズフォーカス社に属し、発行者への第三者コンテンツ提供者である同社のみがその情報及びデータの中の知的財産権の登録をする権利がある。メタルズフォーカス社の分析、データ、その他の関連情報は掲載時点でのメタルズフォーカス社の判断を表したものであり、予告なく変更されることがある。当該データ及び解説のいかなる部分もメタルズフォーカス社の書面による承諾なしに資本市場（資金調達）のために使用することはできない。

当出版物に掲載された2019年以前のSFA社によるリサーチは© SFA Copyrightが著作権を有するものである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者およびコンテンツ提供者は、それが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者、コンテンツ提供者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者とコンテンツ提供者が、情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者とメタルズフォーカス社は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者とコンテンツ提供者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない。発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われぬ。

© 2024 World Platinum Investment Council Limited. 禁無断転載。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの名称、ロゴ、及び略称WPICはワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの登録商標である。当出版物のいかなる部分もワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルおよび著者の許可なくして、いかなる方法によっても複製および配布されてはならない。

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供され、英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する